科目名	成人看護学	単位(時間)	12単位　410時間
担当講師名	専任教員　他	DP	1・2・3・4
科目設定理由	成人看護学では、成人の健康と生活を包括的に理解し、現代社会を生きる成人の健康生活を多角的に捉える視点や、多様な健康状態や健康上の課題に対応するための援助方法を学ぶ科目です。 成人の理解では、成人看護の基本となる考え方や方法論について、看護アプローチの基本をグループ学習によって身につけましょう。成人看護援助論Ⅰ～Ⅳでは、器官系統別、機能障害別看護では専門基礎分野で学んだ医学的知識をふまえ、健康障害を抱える対象の理解、回復を促進する援助や、セルフコントロールへの援助、生活支援を学習します。また特出した科目としてがん看護があります。がんは罹患率が高くわが国の死因第一位であり、病気の進行によって多様な症状を伴うため、苦痛の緩和や治療によって起こる症状のマネジメントが必要となります。そのため、がんを患った患者・家族の特徴やその支援に関わる看護について学ぶことを目的としています。がん医療を取り巻く状況を踏まえ、対象の治療や療養の場の変化から対象を包括的にケアしていく看護を学びます。 成人・老年看護学実習Ⅰでは疾患を持つ成人期から老年期にある対象に対して、疾患や治療による日常生活上の規制や役割の中断を理解した上で病気と付き合いながら生活する対象への健康状態に応じた看護を学びます。成人・老年看護学実習Ⅱでは、疾患や事故、加齢によってその人らしく生きること、生活することが障害された患者および家族(対象)に対して、障害や対象の身体面・心理面・社会面に及ぼす影響をとらえ、障害された機能を回復し、新しい生活を再構築するための看護を学びます。がん看護実習では、対象が自分の病気を受け入れ、治療や予後に対する不安や恐怖をやわらげ、自分の病気と治療を理解し、様々な有害事象に対処する力を身につけ、主体的にがんとともに生きていけるよう支援することを学びます。		

科目構成					
	科目名	成人の理解	成人看護援助論Ⅰ	成人看護援助論Ⅱ	成人看護援助論Ⅲ
	単位時間	1単位15時間	1単位15時間	1単位30時間	1単位30時間
	履修時期	31期生　1年次前後期	30期　2年次前期	30期生　2年次前期	30期生　2年次後期
	学習範囲	1 成人への看護アプローチの基本	1 消化・吸収に関連する健康障害をもつ患者の看護	1 運動に関連する健康障害をもつ患者の看護 2 排泄に関連する健康障害をもつ患者の看護 3 生殖に関連する健康障害をもつ患者の看護 4 感覚に関連する健康障害を持つ患者の看護	1 内分泌・代謝に関連する健康障害をもつ患者の看護 2 循環に関連する健康障害をもつ患者の看護 3 アレルギー・免疫に関連する健康障害を持つ患者の看護
	科目名	成人看護援助論Ⅳ	がん看護		
	単位時間	1 単位30時間	1単位20時間		
	履修時期	30期生　2年次前期	30期生　2年次後期		
	学習範囲	1 呼吸に関連する健康障害をもつ患者の看護 2 脳神経に関連する健康障害をもつ患者の看護 3 造血に関連する健康障害を持つ患者の看護	1 がん看護総論 2 倫理的判断と意思決定支援 3 がん患者の症状マネジメントと心理的サポート・家族支援 4 がん治療における患者の看護 5 がん治療の場と看護		

科目構成	実習のねらい	成人・老年看護学実習Ⅰ　90時間（2単位）
		成人・老年看護学実習Ⅰは、患者が疾患や治療による日常生活の制限や役割の中断を余儀なくされたことを理解し、病気と付き合いながら生活する患者への看護を学ぶ実習です。 疾患を抱えて生活する患者は、病気と付き合いながら生活や役割を調整していくことが必要になります。そのため、入院時から退院後の生活を見据え、患者自身が病気と向き合いながら生活を整えていけるよう、セルフマネジメント支援の視点をもってかかわることが求められます。この実習を通して、患者が病気をどのように捉え、どのように向き合おうとしているのかを理解し、患者のもてる力を引きだし、その人らしい生活を支える看護を学びましょう。 また、患者の疾患や病期、治療を理解し、今後の経過の予測や急性増悪の可能性を考え症状を観察する力が必要となります。症状は日々変化する可能性があるため、その日の体調に合わせ、患者が安心して暮らしを続けられるような支援を考えることも重要です。 患者の思いと症状をアセスメントし、願いに添った看護を実践していくことも求められます。患者には、それまで築き上げてきた生活習慣や生活史があります。生活習慣を見直したり改めたりすることは決して容易なことではありません。価値観を尊重し、その人らしい生活を支えるために、多職種との連携が不可欠です。医療チームの連携の必要性と看護師の役割も考えましょう。 自分とは異なる価値観を持ち様々な経験をしてきた対象の考え方や願い、生活習慣を理解するのは難しいことです。日々患者とかかわり、またカンファレンスや対話を通して視野を広げ、他者の意見を取り入れリフレクションしながら対象に必要な看護を考えていきましょう。
		成人・老年看護学実習Ⅱ　90時間（2単位）
		成人・老年看護学実習Ⅱは、疾患や事故、加齢によってその人らしく生きること、生活することが障害された患者および家族に対して、身体面・心理面・社会面に及ぼす影響をとらえ、障害された機能を回復し、新しい生活を再獲得するための看護を学ぶ実習です。 障害を抱えて生活する患者は、障害と向き合い日常生活活動を再獲得していくことが必要となってきます。患者や家族が障害をどのようにとらえ、どのように向き合おうとしているかを理解し、ICFも参考にさまざまな角度から患者をとらえ、患者の持てる力を引きだし、「できるADL」から「しているADL」にアプローチしていき、その人らしい生活を支える看護を学びましょう。 この実習では、患者の疾患や障害を理解し、必要なリハビリテーションを効果的に行い良好な状態を維持することが必要となります。また、日常生活活動を再獲得するためには身体機能の回復だけでなく、心理面への援助が必要です。さらにリハビリテーションで起こりやすいリスクを考え、観察やリスク予防のための援助も必要となります。患者や家族の思いと状態をアセスメントし、患者や家族の願いに添った看護を実践していきましょう。 障害を抱える患者や家族の課題の解決には、さまざまな領域から専門的な支援が必要とされ、多職種との連携が不可欠です。医療チームの連携の必要性と看護師の役割も考えましょう。 障害を抱えて生活する患者や家族の障害受容に対する援助は難しいことです。カンファレンスや対話を通して視野を広げ、リフレクションしながら対象に必要な看護を考えていきましょう。
		がん看護実習　90時間（2単位）
		がん患者の増加とがん医療に対する国民ニーズの高まりに伴い、がん治療を受ける患者とその家族にとって最も近い医療職種として患者支援にあたる看護師は、医療チームの中での役割がますます期待されています。 がん看護実習では、患者が自分の病気を受け入れ、治療や予後に対する不安や恐怖をやわらげ、自分の病気と治療を理解し、様々な有害事象に対処する力を身につけ、主体的にがんとともに生きていけるよう支援することを学びます。この実習では、がんとともに生きる患者の姿を通し、病気や予後に対する思いを踏まえてがん患者の病の軌跡について理解できるよう努めましょう。また、がんに罹患した体験の意味を成長発達段階や社会的役割をふまえて患者を全人的に捉えます。コミュニケーションの中から、患者の治療コンプライアンス・アドヒアランスについて考えましょう。その上で患者が主体的に治療に参加し、生活との両立を継続できるよう支援します。また患者の苦痛や困難なことの克服に向かって、その時々の状態にふさわしい、QOLが高まるような支援を考えます。 周手術期患者を受け持ちながら、がんについて学びをすすめてゆくと、がんの病態的特徴、診断方法、治療の特徴、集学的治療それぞれの有害事象の発生機序と時期、がん疼痛の特徴と緩和の方法についてわかることが増えてくるようになるでしょう。この実習を通し、がん看護や周手術期看護に必要な基礎能力を養えることを期待しています。その人らしい生活や人生を支える看護について臨床実践する看護師の姿や実習での自分の体験から、自己の死生観をみつめ、育むことを試みましょう。がん看護のありようについて意見交換し考えたことをまとめ、グループワークによって学びを深めていきましょう。

学習を支える情報	成人看護学ではその対象である成人期の人々を理解することから始まります。ライフサイクルと看護で学んだ成人の理解と看護を土台に自らも成人学習者の一員として興味や関心を持って人と関わることを心がけましょう。 人生の中心軸となる約40年間を生・病・死とともに生活する成人を、生涯発達する存在として時代とともに文化的・社会的活動を担いながら変化し続ける存在として理解しましょう。大人の仲間入りをし、自己を変革し続け、家族を育み・支え、社会との関係を発展させてゆく時期にある人々の健康を守ることは、社会の中心となり世代をつないでいる人々の現在、未来の社会を守ることでもあります。この世代の人々に対する看護活動を理解するために、成人期に特有な健康問題や行政の政策について知っておくと、視野が広がり、理解が深められることと思います。 成人看護援助論では、専門基礎分野で学習した疾病論をベースにどのような看護が必要なのかを系統立てて学習しましょう。臨床での看護実践能力の基盤となる知識の多くが学べる科目です。考え方や根拠を理解し、使う知識として獲得し、看護する視点を育てましょう。 ＜eテキスト＞ 成人看護学総論(1)　成人看護学(2)(3)(4)(5)(6)(7)(8)(9)(10)(11)(13)(14) 臨床看護総論　　臨床外科看護総論　臨床外看護各論　栄養食事療法　臨床検査　臨床薬理 リハビリテーション看護　がん看護学 老年看護学　老年看護病態・疾患論 ＜テキスト＞ 生活機能から見た老年看護過程　写真でわかる臨床看護技術2アドバンス 写真でわかるリハビリテーション看護アドバンス　看護がみえる1基礎看護技術 看護がみえる2臨床看護技術　看護がみえる3フィジカルアセスメント 看護過程に沿った対症看護　病態生理と看護のポイント　他